

桜丘9条の会

講演会

# ジャーナリストが 見た中東の今

なぜシリアはここまで混迷を深めてしまったのか

たはら まき  
講師 田原 牧さん

中東情勢に精通している東京新聞  
特報部デスク 田原牧さんを迎える、  
シリアを中心に中東の問題を考え  
いきます

2017

2/5 日  
13:30-15:30  
(13:15 開場)

場所: 桜丘区民センター  
世田谷区桜丘 5-14-1

参加費: 500 円

主 催: 桜丘9条の会

問合せ 03-3426-2377 (小野)  
sakuragaoka9jyokv2@yahoo.co.jp



田原 牧 プロフィール

1962年生まれ。87年、中日新聞社入社。名古屋社会部、カイロ支局勤務などを経て、現在、東京本社(東京新聞)特別報道部デスク。  
日本アラブ協会発行・季刊『アラブ』編集委員。  
主な著書に『イスラーム最初線』(河出書房新社)、『ネオコンとは何か』(世界書院)、「ほっこり  
けよ。」(ユビキタ・スタジオ)、『中東民衆革命  
の真実』(集英社新書)、『ジャスマシンの残り香』  
(集英社)で、第12回岸基健ノンフィクション賞  
受賞。



2017年2月5日

## 桜丘9条の会

### シリアの混迷について

東京新聞特報部 田原牧

(プロローグ) 私が見た内戦前のシリア

#### A. シリア内戦の推移

- 2011 「アラブの春」で青年らのデモ／バッシャールの讓歩／ダラー事件とジーザ村ハムザ君事件／ジスル・シュグール事件／プロの反政府派勢力台頭
- 2012 サラフィー・ジハーディストの台頭（ヌスラ戦線など）＝「自由と民主主義」から「イスラーム国家建設」に焦点が移動／イランが介入
- 2013 化学兵器事件／サウジが軟化し、和平機運？／ISILとヌスラ戦線対立
- 2014 ダーイシュ（IS）がカリフ制国家樹立宣言
- 2015 ロシアが介入／米国のゲタ預け鮮明に
- 2016 トルコが方針転換／12月に反体制派拠点ハラブ（アレッポ）の陥落

#### B. 友人・知人の見方

- ・ムハンナド 「バッシャールとダーイシュのマスマヘイヤ（演劇）」
- ・ダスキー 「湾岸の反動王政の介入と米国の陰謀」
- ・アクビク 「宗教過激主義の害毒」
- ・ダマスカス市民 レバノン／イラクの惨劇から保守的

#### C. ダーイシュをめぐって

1. イスラーム主義の一派で、イラク・バース党人脈も
2. 「パンドラの箱」開いたアラブの春
3. バッシャールの「泳がせ戦術」と失敗
4. 残酷さと生き直し／現代の「病」としてのIS+絶滅せず

#### D. 内戦の底流

1. 田中角栄と小泉純一郎（背景に部族の不満）
2. 共和主義と王政→シーア派伸張へのスンナ派の危機感
3. 傷口広げた「8人麻雀」＝国際社会の酷薄
4. 錯綜する情報の中での孤立（何も信用できない）
5. 国家を束ねる力（反政府派の四分五裂／少数宗派の体制化）+社会再生の道陥しく